

## 令和5年度授業研究の充実に係る校内研究報告書

### 第1回

実施日	実施時間	学年	講師肩書等	講師氏名
令和5年7月19日	14:00~16:00	全学年	武蔵野東教育センター 所長	計野 浩一郎 様
内容、成果等	<p>不登校特例校としての授業は、個々のニーズに応じていく授業研究が必要であることを学べる内容であった。</p> <p>その中で、生徒に良い芽を育むために全体を満遍なく育むのではなく、特に良い芽を成長させることに視点をおくことの大切さを認識することができた。</p>			

### 第2回

実施日	実施時間	学年	講師肩書等	講師氏名
令和5年9月1日	14:00~16:00	全学年	公認心理士・上級教育カウンセラー	田中 典子 様
内容、成果等	<p>不登校傾向の生徒にみられる「発達、認知についての体験ワーク」を通して、具体的な授業の工夫のあり方が理解できる内容であった。また、「ストローク理論」による生徒への声掛けの仕方や、所見の記入等で留意すべき「神経言語プログラミング理論」からリフレーミングによる言葉の使い方を学ぶことができた。さらには、具体的な事例に基づく不登校傾向の生徒との関係構築のあり方やユニバーサルデザイン授業の実施対応事例をもとに、不登校傾向の生徒に対する授業の工夫について実践力の向上につながる成果があった。</p>			

### 第3回

実施日	実施時間	学年	講師肩書等	講師氏名
令和6年1月24日	14:00~16:00	全学年	東京都人権施策専門家会議委員	大江 近 様
内容、成果等	<p>第1学年と第2学年の道徳科の授業をもとに、ねらいと基本発問、中心発問の関係について、「考え議論し深める道徳」を実践するための具体的な授業のあり方が理解できる内容であった。また、「道徳科授業の導入、展開、終末の基本例(形)」「道徳科授業の発問についての考え方」「道徳科授業の指導過程の趣旨と留意点」についての考え方を学ぶことができた。</p> <p>「考え議論し深める道徳」を実践するための授業準備や授業展開について、実践力の向上につながる成果があった。</p>			